

普通科・理数科の取組

普通科

——大宮高校の生徒は、3年間で、授業だけでなく、部活や学校行事などでも頑張り、予備校にも頼らず、大学入試のライバルである中高一貫校(6年間)の受験生を凌ぐ学力を身につけます—— これは入学直後に配付する『学習の手引き』の一節です。

大高では授業を65分にして、週あたり約2時間の増加を確保します。また、2学期制によって年間10日間程度の授業日数増を確保します。そして、年間17回の土曜公開授業を実施して9日間程度の授業日数増を確保します。さらに、春休み、夏休みは少し早く明けるので5日間程度の授業日数増を確保します。これらによって30日以上の授業日数を確保するのです。

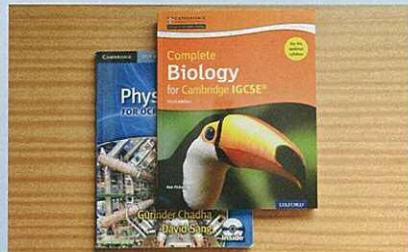
生徒は授業のほかにも家庭学習に励み、膨大な学習量を蓄積していきますが、それでも大高生は明るく、しなやかで、前向きです。ハツラツとした高校生活を送っています。それを実現するのもチーム大宮なのです。



進路希望に応じた演習授業



速い進度と深い理解の両立を実現する英語の授業



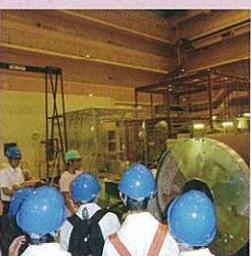
総合的な学習の時間(英語で学ぶ物理・生物)

理数科

平成3年に理数科が設置されてから26年目を迎え、これまでに約900名の卒業生を送り出してきました。その中には、現在東京大学で准教授を務め、“森のノーベル賞”ともいわれる「マルクス・ヴァーレンベリ賞」をアジアで初受賞した齋藤継之さんや、核物理学の研究者として国際的に活躍している鈴木大介さんなどもいらっしゃいます。

理数科では「教科理数」(理数数学・理数物理・理数化学・理数生物)という授業が行われており、専門性の高い理数系の学習が日々展開されています。さらに生徒の皆さんの知的好奇心を刺激し探究心を育成するため、授業以外に理数科独自の各種行事が組まれています。これらの行事を通じて、生徒の皆さんは最先端の科学研究について知ることができます。

また、理数科には「三六会」というOB組織があります。毎年6月には、3年生に対して受験相談会を開催して、大学の学部学科の最新情報や受験勉強のコツなどを伝授しています。このように、校内はもとより校外からの支援体制も充実しているのが理数科の強みです。



最先端研究施設訪問



大学セミナー



理化学研究所見学



三六会



理数科体験入学補助

社会で活躍する卒業生からのメッセージ



弁護士 畠 十萌子さん

法科大学院1期生。貧困、女性、労働、刑事事件等あらゆる問題に対して、市民に寄り添い、社会にも訴えながら、精力的に弁護活動をしている。

メッセージ 大宮高校は自主性を重んじ、遊ぶ時は遊ぶ、学ぶ時は学ぶ、頑張る時は頑張るが出来る、自由で楽しい学校です。部活動もしっかり頑張るところも魅力的でした。自立した優しい仲間達に囲まれて、いい思い出でいっぱいです。皆さんも是非、伝統ある大宮高校に入学されて、勉強も部活も行事も友人関係もいっぱい楽しく頑張って下さい！そして社会にも興味を持ち、良い社会は何か、も考えてくれると嬉しいです。

平成12年3月卒業生(普通科)
さいたま市立日進中学校出身・中央大学法学部卒業
中央大学法科大学院卒業・埼玉中央法律事務所弁護士